

## 令和5年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	6	議席 番号	13	氏名	辻村 岳 瑠 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	児童福祉法改正に関する自治体の取組について			<p>改正児童福祉法により導入される、子どもの声を聴く制度について以下伺う。</p> <p>(1) 子どもの権利を守るためには、子どもに関わる全ての人が理解を深める必要があり、組織や仕組みの改善も重要だが、意識の変革が不可欠だと考える。今後の市の意識変革の取組について伺う。</p> <p>(2) 幼児の声を聴くための取組として、幼稚園などの教育機関や保育所との連携をさらに強化し、保護者や教育者、保育士を通じた幼児の意見を集める仕組みを整えることが重要である。市の考えを伺う。</p> <p>(3) 児童生徒の声を聴くために、「子どもの相談窓口」として、一人一台配布されているタブレット端末を活用した相談窓口を設置してはどうか。市の考えを伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
2	地域デジタル通貨「(仮称)みーや」導入について			<p>人口減少に伴い、市内の消費活動は弱まり、地域経済が縮小することが予想される。当市の持続的な経済活動を支えるため、その一つの方法である地域デジタル通貨「(仮称)みーや」の導入を提案する。また、それによる乗数効果について市の考えを伺う。</p> <p>(1) スマートフォンの普及拡大に伴い、スマートフォンの利用を前提とした消費様式へと変化してきている。現在の市内の経済状況に配慮した地域デジタル通貨導入のタイミングについて、市の見解を伺う。</p> <p>(2) 国の成長戦略において、キャッシュレス決済比率を2025年6月までに4割程度とすることを目指している。地域デジタル通貨導入により受けられる補助金や支援策について伺う。</p> <p>(3) 地域デジタル通貨は、地域内の資源やサービスの活用が促進され地域経済が活発化し、市外にお金が出ることがないだけでなく、市内通貨のやり取りで地域コミュニティの活性化に寄与する。人口が減る地域課題へのアプローチをこれまでと変えていく必要があると考え、地域デジタル通貨導入に対する市の考えを伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
3	都市計画マスタープランについて			<p>都市計画マスタープラン芝川地域について、地域づくりの取組方針の①土地利用に関する事項については「地域産業の振興に合わせて、新東名高速道路とのアクセスをいかした地域資源を核とした交流の場の形成を推進し、新たな就業の創出などによる地域の活力向上を目指す」とあるが、以下伺う。</p> <p>(1) 「新東名高速道路とのアクセスをいかした地域資源を核とした交流の場」の具体的な候補地について伺う。</p> <p>(2) 交流の場の形成と新たな就業の創出とは、具体的にどのようなことをいうのか伺う。</p> <p>(3) 西の玄関口にふさわしい、道の駅を活用した新たな就業の創出で地域の活力向上を目指してはどうか。市の考えを伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長